

1. 起動と終了
2. マウス操作

本来マウス操作は、キーボード操作の補助的役割でした。しかし、現在ではマウスが無くてはパソコン操作も不可能です。

マウスを使いこなせるようになると、パソコン操作の大部分が操作できるようになります。

●ポインタ

マウスを動かすと、連動して画面上の矢印が動きます。
この矢印を **ポインタ** といいます。

●クリック

■ 左ボタンを 1 回押すこと。

マウスの基本操作で、**選択** の意味になります。

●ダブルクリック

■ 左ボタンを 2 回続けて押すこと。
ファイルやソフトを **開く** 時に使います。

●ドラッグ

テキストを選択したり、ファイルを移動させたりできます。
ドラッグした移動先でボタンを離すと解除されます。
これをドロップといいます。
そして、この一連の操作を **ドラッグ&ドロップ** といいます。

●右クリック

■ 右ボタンを 1 回押すこと。

その項目やファイルから実行できる **メニュー** を表示したい時に使います。

3. デスクトップ

パソコン操作はデスクトップ画面から始まります。

●デスクトップの意味

パソコンの電源を入れて最初に目にするのがデスクトップ画面です。



全てはこの画面から始まるのですが、パソコンをこれから覚えようとするのであれば、デスクトップの意味を深く考えようとしなくてもパソコンは操作できます。

パソコンの電源を入れて最初に開くのがデスクトップと覚えておけば良いでしょう。

●ここがポイント

パソコンを使うということはアプリケーションソフトを使うということです。

アプリケーションソフトを開いた状態だと、デスクトップ画面は見られなくなります。

つまりデスクトップはアプリケーションソフトを開くまでのメニューがある画面と考えてください。

デスクトップ画面にこだわる必要はありません。

それは、これ以降を勉強すればデスクトップ本来の意味がわかるからです。

デスクトップ画面にある絵やメニューの名称を覚えておけばそれで充分です。



- アイコン よく使うソフトが絵になっています。
- スタートボタン ソフトの起動など **全てはここから** 操作可能です。
- クイック起動アイコン デスクトップのアイコンと同じ意味です。
- タスクトレイ 既に動いているプログラムが表示されます。

4.日本語入力

日本語を入力する為には、日本語入力システムが必要です。
ここでは Windows に搭載されている MS-IME を例にして解説します。

下にある画面を IME ツールバー といいます。
マウスポインタを動かし IME ツールバーの上に持っていくと簡単な説明が見られます。



●MS-IME の起動方法

日本語入力は必要不可欠ですから、すぐに起動させる方法を覚えておかなければパソコン操作もままなりません。

一般的に MS-IME(以下 IME)が使用できる状態をオン、使用しない状態をオフと呼んでいます。
IME のオンとオフの切り替えには、キーボードの **半角/全角** キーを使います。

●変換方法

■ 漢字に変換

漢字に変換するには、スペースキーを押します。
最初に変換された漢字が該当しない場合は、もう一度スペースキーを押します。
該当する漢字の一覧の中から希望の漢字を探し、[Enter] キーで確定します。

■ カタカナに変換

1. 漢字の変換と同じようにスペースキーで変換します。
2. ファンクションキーの [F7] を押すと全角カタカナ、[F8] を押すと半角カタカナになります。

■ アルファベットに変換

1. IME をオフにして直接アルファベットを入力します。
2. ファンクションキーの [F9] を押すと全角アルファベット、[F10] を押すと半角アルファベットになります。

■ ひらがなのまま確定

ひらがなのまま確定させるには [Enter] キーを押します。